

QRコード利活用促進協議会

設立趣意書

設立の目的

昨今、スマートフォン(iOS、アンドロイド)やタブレットの普及は著しく、これらの端末は日常生活に欠くことのできない必需品となっています。これに伴い、これら端末用のアプリケーションも無償で優秀なものが数多く、また日々新たなアプリケーションが世に出ています。

他方、これらの端末の普及と進化は、「ICT弱者」と言われる「高齢者、障害者」の利用格差を広げ、ICT格差社会を形成し始めています。このような格差形成の歯止めとして、利用者に親和性のある簡易なアプリケーション、だれでも気軽に使えるアプリケーションの開発はもちろんのこと、これらのアプリケーションで使用するデータやコンテンツの作成、データベースへの取込や読出し、他のアプリケーションとの連携が容易であることも不可欠であります。

当協議会は、アプリケーション開発の容易性、データやコンテンツの作成およびデータベース連携の容易性を考慮し、その仕様が公開されており、だれでも利用可能なフリーライセンスの「QRコード」を利用したソリューションやサービスの創造と利活用のためのアプリケーションやコンテンツ作成を支援することで、高齢者、障害者等の「ICT弱者」が直面している「デジタルデバインド環境」を解消する一つのICT環境の構築に資する活動を行うことを目的としています。

(「QRコード」は株式会社デンソーウェブの特許及び登録商標です)

当協議会が目指す活動内容

【1】QRコードを利用したサービス、ソリューションの創造

- (1) 行政サービス、防災防犯、観光その他利活用シーンの創造と利活用促進の働きかけ
- (2) 医療・介護等のサービスでの利活用促進の働きかけ

【2】QRコードを利用したサービスやソリューションのためのアプリケーションの開発、公開

- (1) 開発アプリケーションの公開、配布、
【例】開発済み「自動音声読出しアプリケーション」の公開
- (2) 各種アプリケーションとの連携フレームワークの開発、公開
【例】通院予約情報のQRコード化とカレンダーアプリへの取込連携
- (3) 各種アプリケーションへのQRコードデータ作成機能のアドオン
【例】ワード、エクセル、メーラー等テキストデータのQRコード化機能のアドオンソフト
- (4) 音声画像映像データのQRコード化ソフトの開発、普及

【3】QRコード利活用のサービス、ソリューションのコンテンツ作成及び作成支援

- (1) 行政でのQRコード利活用のためのデータ、コンテンツの無償作成支援
- (2) 防災防犯関連機関へのデータ、コンテンツの無償作成支援
- (3) 観光その他関連機関へのデータ、コンテンツの無償作成支援
- (4) 医療、看護介護施設へのデータ、コンテンツの無償作成支援

【4】QRコード利活用のための啓蒙活動

当協議会が行う具体的活動

当協議会では、上記の活動を実現するため、以下の活動を実施いたします。

【1】アプリケーションの開発関連

- ・ アプリケーションの開発、支援
- ・ Apple Store、Google Playでの無償アプリケーション公開
- ・ 無償スマホ用ベータ版アプリケーションの協議会HPでの公開
- ・ 無償 PC、サーバー用連携アプリケーションの協議会HPでの公開
- ・ 会員が開発した有償アプリケーションの協議会HPでの紹介
- ・ 会員による公開アプリケーションの検証と改善

【2】コンテンツ作成支援関連

- ・ データ、コンテンツ作成マニュアルの公開(協議会HP)
- ・ 出張作成支援(交通費等実費有償)
- ・ 作成に関する問合せ対応(メール)
- ・ 会員によるコンテンツのモニタリングと改善提案

これらの支援を通して、利活用の働き掛けを行う

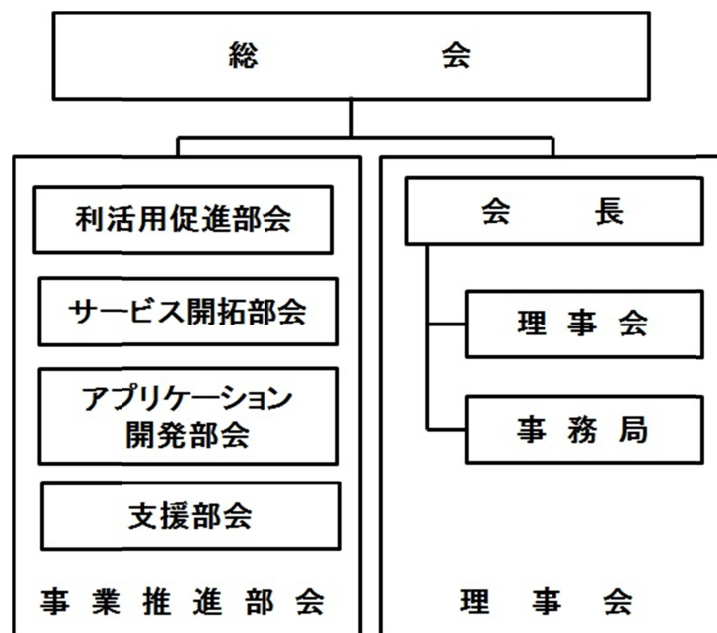
【3】啓蒙活動

- ・ 利活用のためのセミナー等イベント開催
- ・ 啓蒙のための出版物の発行

当協議会の組織と運営

当協議会は、個人会員と法人会員からなり、会費は無料とし、活動はボランティア活動を中心に実施します。尚、コンテンツ作成支援等で経費が掛かる場合は、利用者から実費を申し受け活動者に支払います。

当協議会の運営は、会員による「総会」の下で、理事で構成される理事会による「協議会運営組織」と会員で構成される活動の推進を行う「活動推進組織」で構成されています。



平成27年4月20日

QRコード利活用促進協議会